

株式会社ビーアールホールディングス

個人投資家向け会社説明会

2025年9月24日（水）

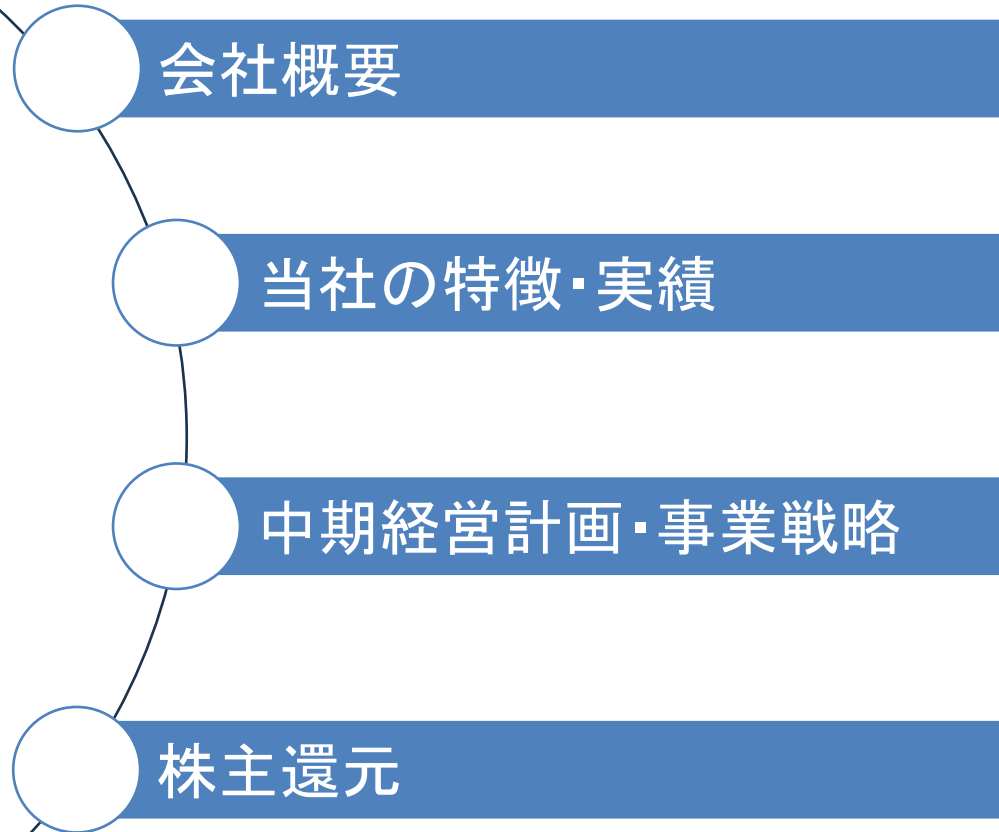


株式会社 ビーアールホールディングス

【東証プライム市場：1726】



説明資料に含まれる歴史的事実ではないものは将来の見通しです。
将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり不確定な要素を含んでおります。
従いましてこれらの見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。
当社の業績等はさまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合があります。



A large, light blue circle is partially visible on the left side of the slide.

会社概要

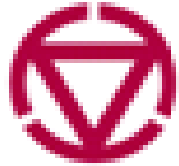
当社独自の強みや競争優位性、主な実績事例についてご紹介いたします。

A large, light blue circle is partially visible on the right side of the slide.

会社概要

2025年3月31日現在

商 号	: 株式会社ビーアールホールディングス
設立年月日	: 2002年9月27日
代 表 者	: 代表取締役社長 藤田公康
本社所在地	: 〒732-0052 広島市東区光町二丁目6番31号
資 本 金	: 48億1384万7000円
事 業 内 容	: 土木・建築等を行う子会社の経営管理等
従 業 員 数	: 連結637人
連結売上高	: 40,770百万円(2024年度)
上場取引証券所	: 東京証券取引所(プライム市場 証券コード:1726)



1948年

鉄道砂利工業(株) 創立 (広島市)

1954年

商号変更 極東工業(株)

2000年

1999年広島証券取引所上場、株式市場統合に伴い
東京証券取引所 市場第二部上場

2002年

株式移転により(株)ビーアールホールディングス設立

2005年

興和コンクリート(株) 完全子会社化
(東京都 1939年設立)
旧興和コンクリート会社分割後、事業部門を取得

2007年

東日本コンクリート(株) 完全子会社化
(仙台市 1951年設立)
株式交換により全株式を取得

2008年

極東工業・興和コンクリートが合併し、
商号を 極東興和(株)に変更

2016年

東京証券取引所 市場第一部指定

2022年

東京証券取引所 プライム市場移行



【Br.HDグループ】



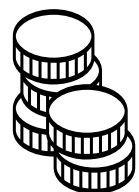
2024年度実績



売上高：407億円



営業利益：19億円



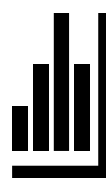
ROE：8.6%



配当性向：53.0%



DOE：4.6%



PBR：1.0倍

当社の特徴・実績

施工実績と当社を取り巻く環境についてご紹介いたします。

Br.HDグループ企業
極東興和株式会社
東日本コンクリート株式会社は、

地方のゼネコンではない

General Contractor

プレストレスト・コンクリート(PC)の
専門技術者集団です。

【プレストレストコンクリート(PC)とは？】

◆コンクリートは引っ張りに弱い

引張強度は圧縮強度の $1/10 \sim 1/13$

◆RC(鉄筋コンクリート) = 鉄筋で補強されたコンクリート

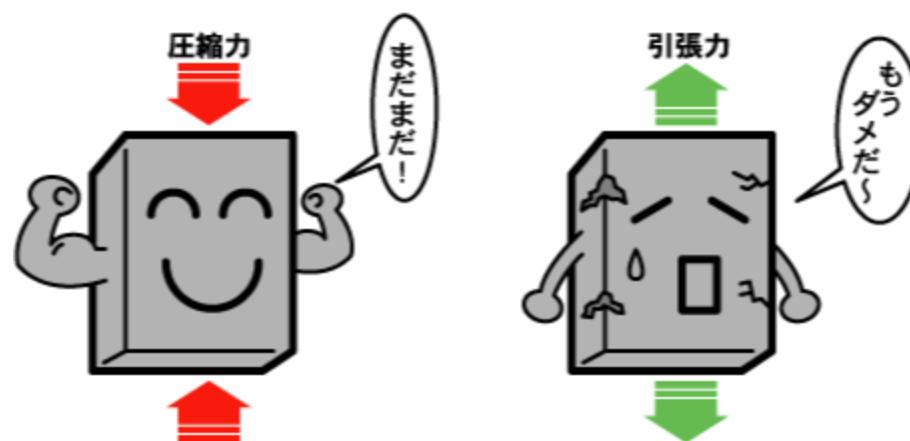
Reinforced Concrete

◆PC(プレストレスト コンクリート)

= 予め応力を与えられたコンクリート

Prestressed Concrete

コンクリートの性質

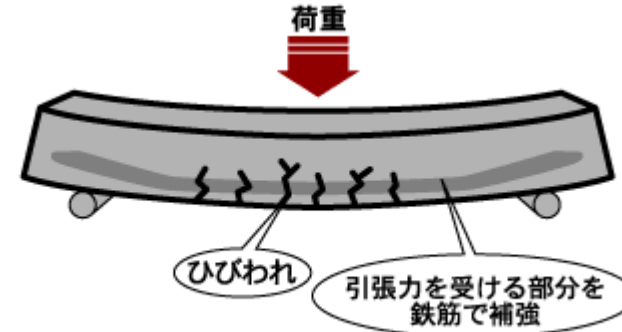


【プレストレストコンクリート(PC)とは？】

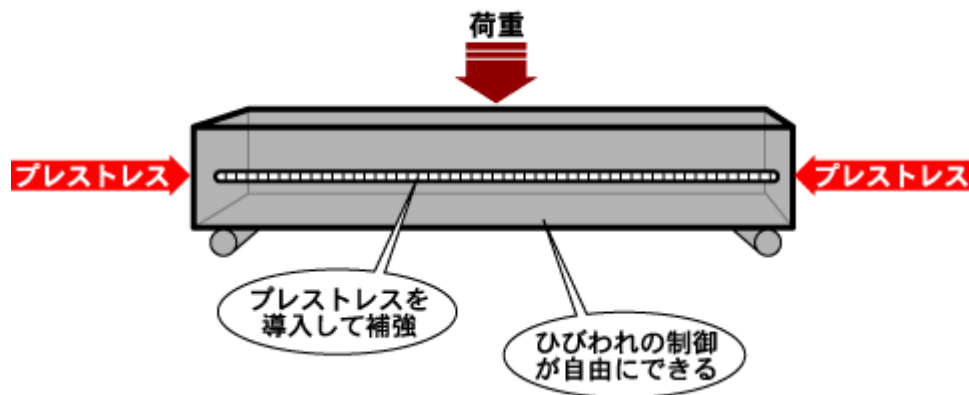
無筋コンクリート



RC(鉄筋コンクリート)



PC(プレストレストコンクリート)



鉄筋コンクリートは、引張力に対して鉄筋で抵抗する構造ですが、コンクリートの多少のひびわれは避けられません。

一方、**プレストレストコンクリート**ではあらかじめコンクリートに圧縮応力を作用させることによって、ひびわれを生じさせない構造としたり、ごくわずかのひびわれ幅に制御する（**P R C 構造**）ことも可能です。

土木学会 田中賞 受賞
大芝大橋:広島県東広島市安芸津

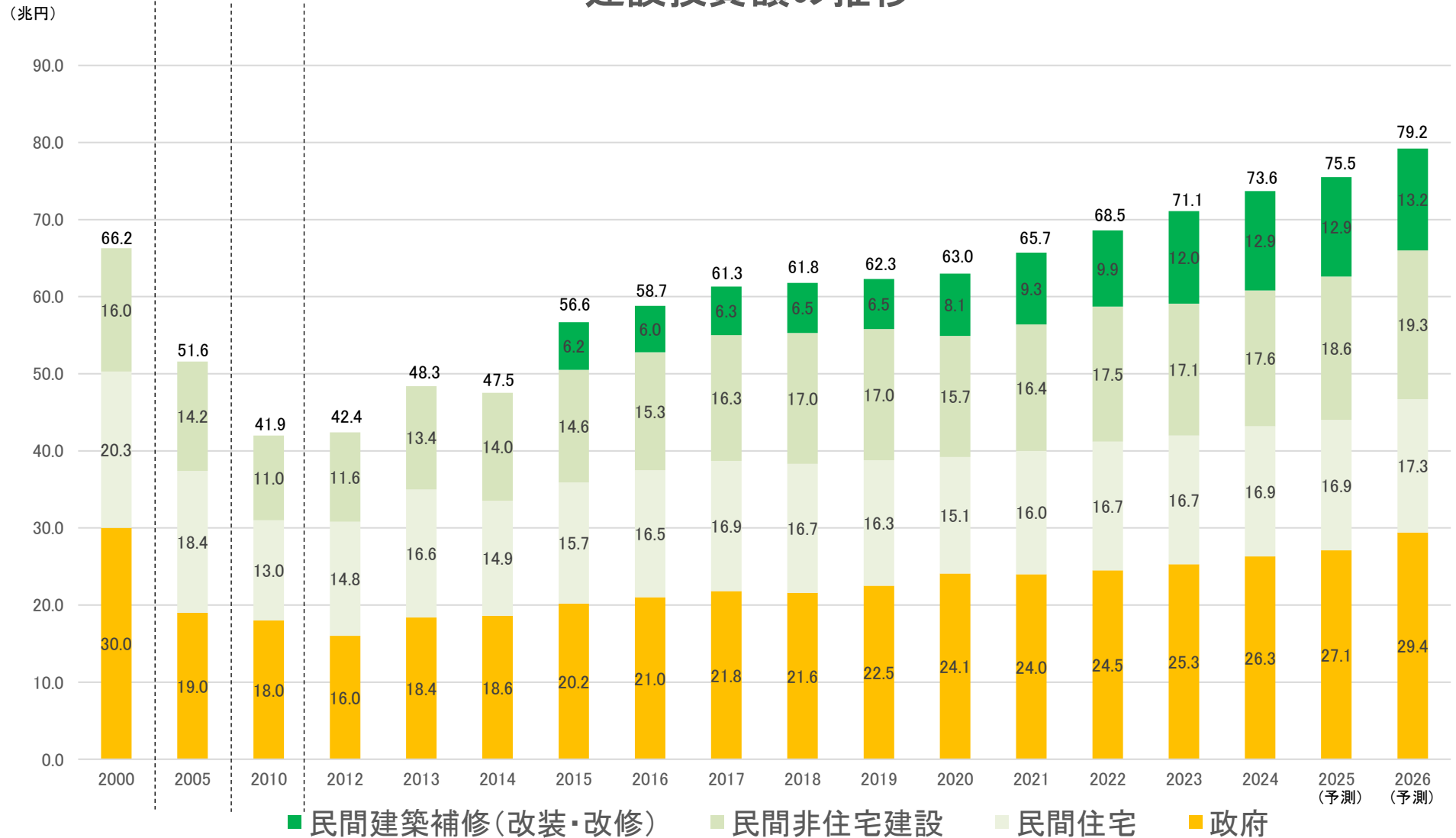


※. 田中賞は、日本の橋りょう建設分野で最も権威のある賞とされ、土木学会により昭和41年度に創設されました。

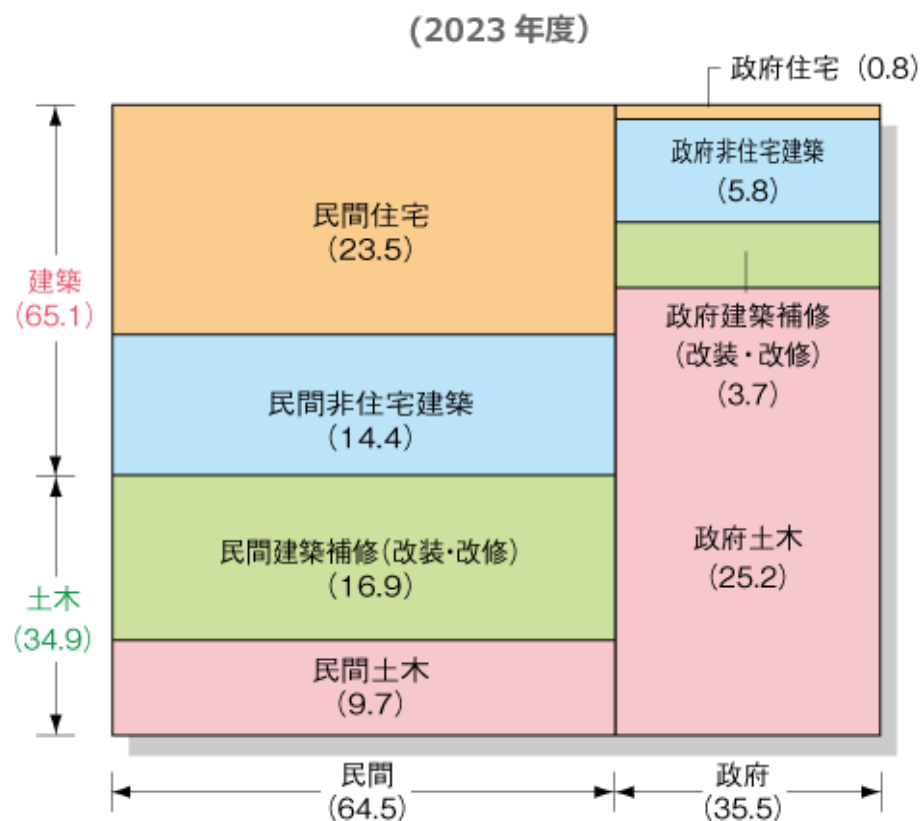


鉄道建設・運輸機構 鉄道建設本部株式会社 北陸新幹線 深山トンネル他 福井県敦賀市

建設投資額の推移

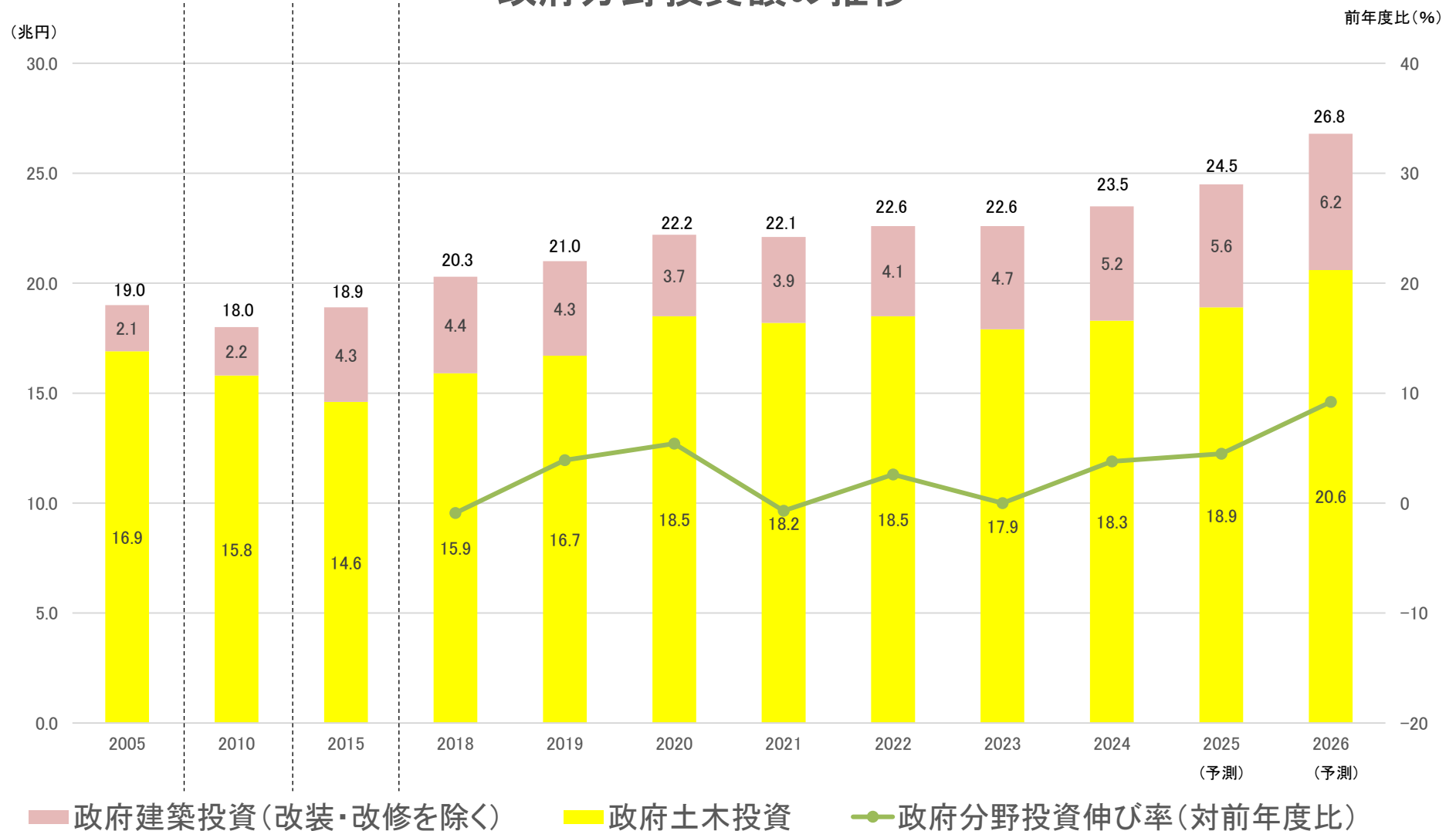


建設投資の内訳

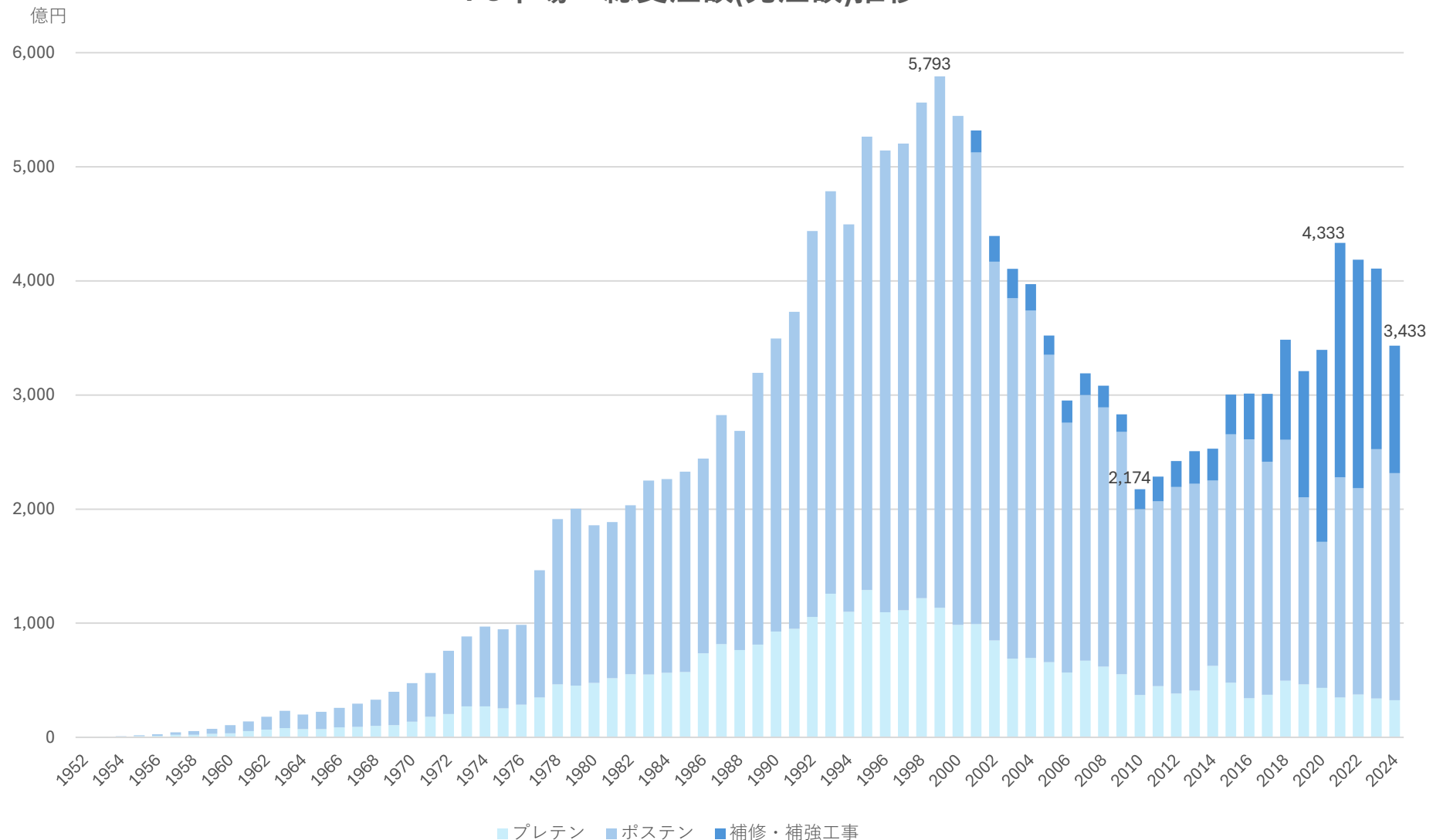


資料出所：国土交通省「令和6年度建設投資見通し」

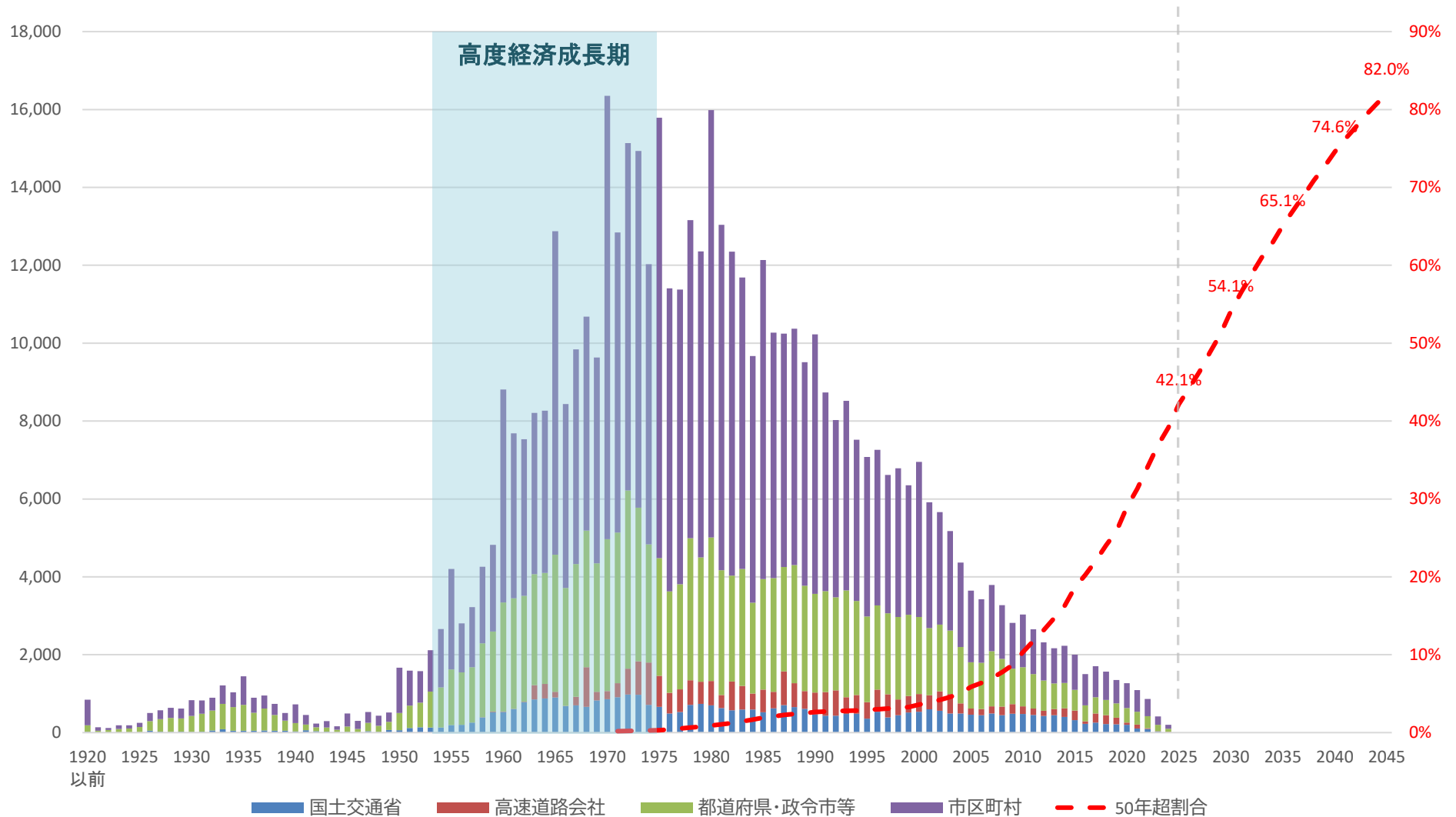
政府分野投資額の推移



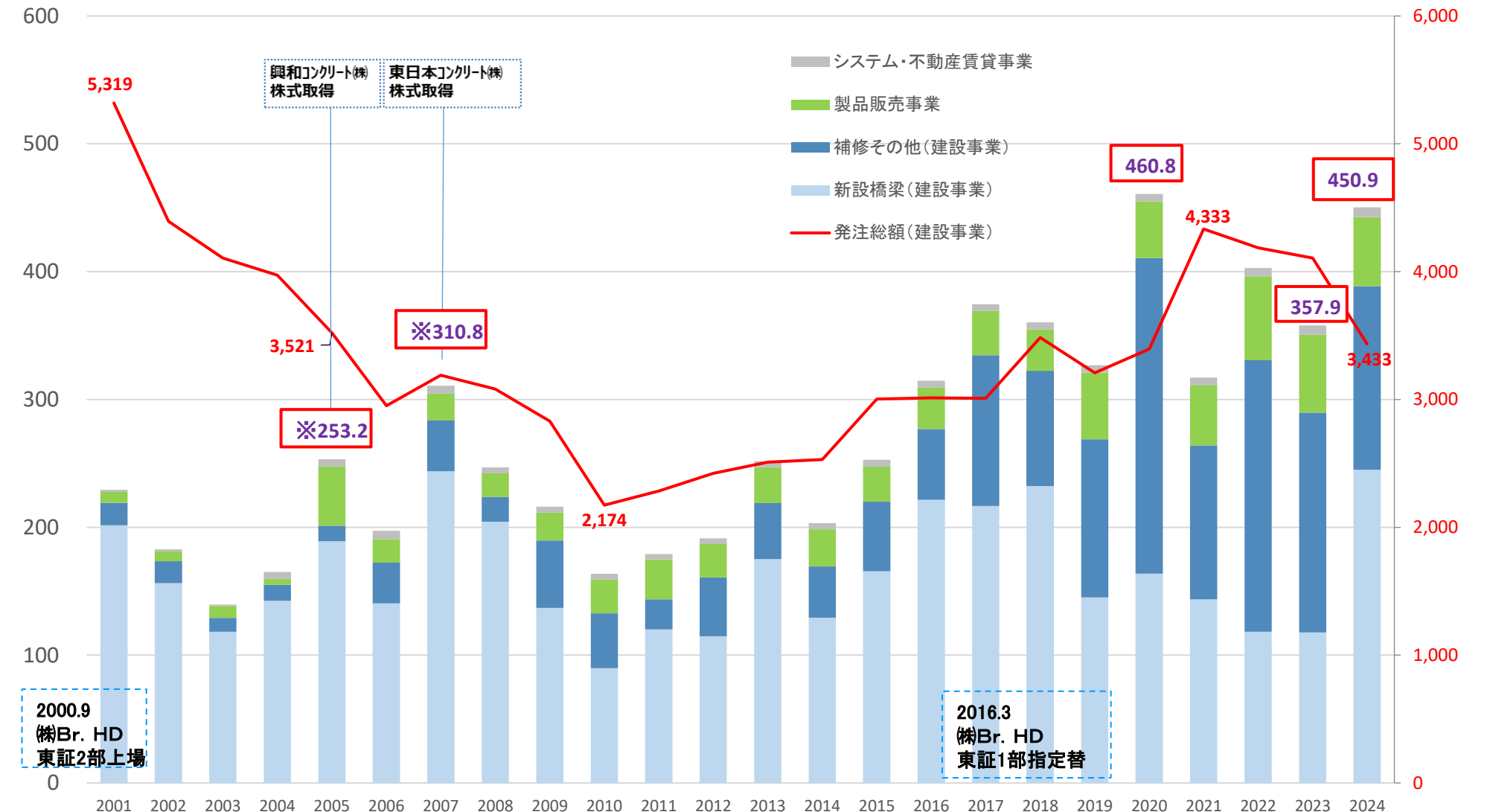
PC市場 総受注額(発注額)推移



建設年度別橋梁数(累計約73万橋)

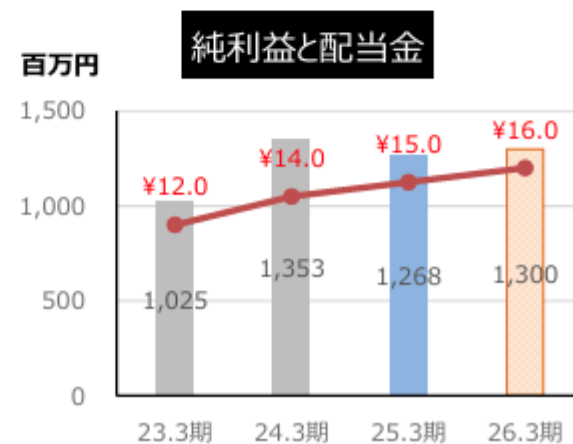
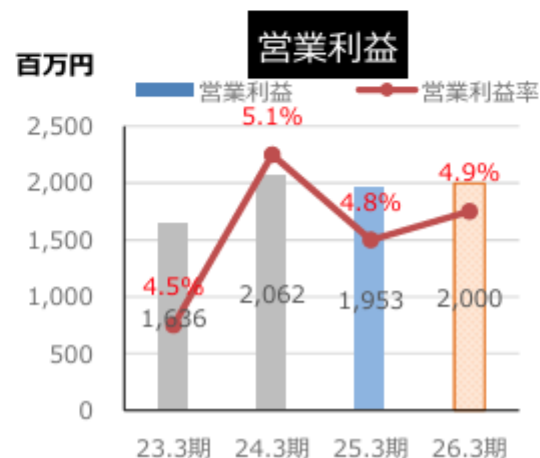
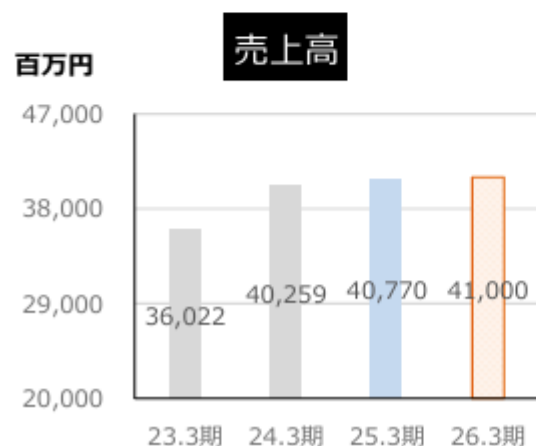


セグメント別受注実績 発注量比較



※年度別発注総額は、一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会の調べによる統計値です
 ※H17年度の受注高には興和コンクリート㈱の全株式を取得したことに伴い、興和コンクリート㈱の繰越高56億円が含まれております。
 ※H19年度の受注高には東日本コンクリート㈱の全株式を取得したことに伴い、東日本コンクリート㈱の繰越高54億円が含まれております。

単位：百万円	24.3期		25.3期		26.3期		
	実績	前年比 %	実績	前年比 %	予想	前年比 %	コメント
売上高	40,259	11.8	40,770	1.3	41,000	0.6	大型工事の進捗が順調に進むと見込まれ前期並み
営業利益	2,062	26.0	1,953	△5.3	2,000	2.4	大型工事の進捗に伴って、設計変更の増額が見込まれ前期比増益
経常利益	2,036	25.3	1,880	△7.6	1,900	1.0	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,353	31.9	1,268	△6.3	1,300	2.5	
1株当たりの配当金	14円（特配1円含む） （中間6円 期末7円 特配1円）		15円 （中間7.5円 期末7.5円）		16円 （中間8円 期末8円）		連結配当性向40%以上 DOE 4%以上





沖縄総合事務局 港川高架橋上部工外工事 沖縄県那覇市



西日本高速道路株式会社関西支社 新名神高速道路 成合第一高架橋 大阪市高槻市



首都高速道路株式会社 飯田橋補強工事 東京都千代田区



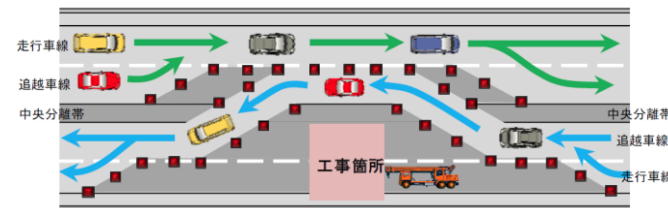
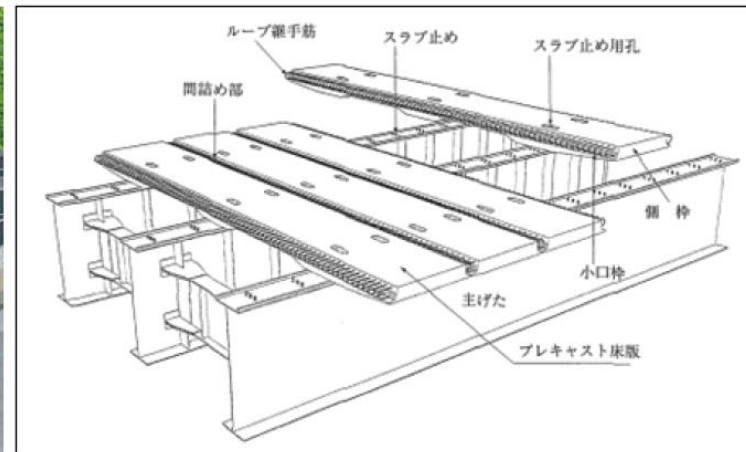
中日本高速道路株式会社八王子支社 長野自動車道 鎖川橋床版取替 長野県塩尻市

補修・補強工事

【PC床版取替】

鉄筋コンクリート(RC)床版の大規模更新

RC床版を、より耐久性の高いPC床版に取替



工事による交通影響を軽減させるため、対面交通規制により片側ずつ取替え

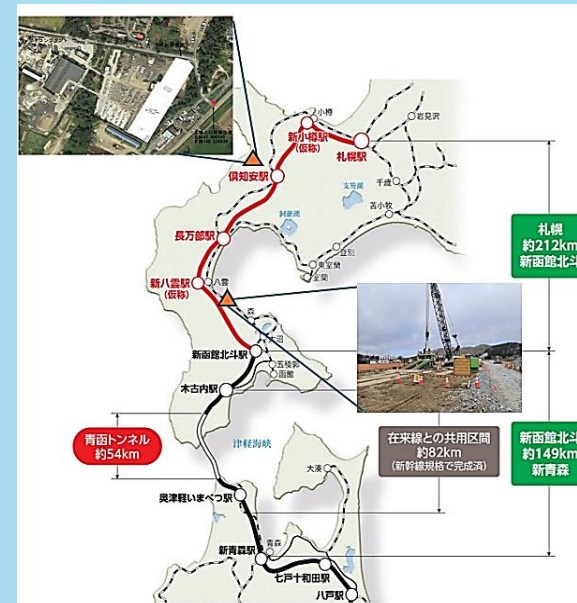
出典：高速道路資産の長期保全および更新の在り方に関する技術検討委員会 ―最終報告―

主な受注実績

期中受注合計：74.6億円

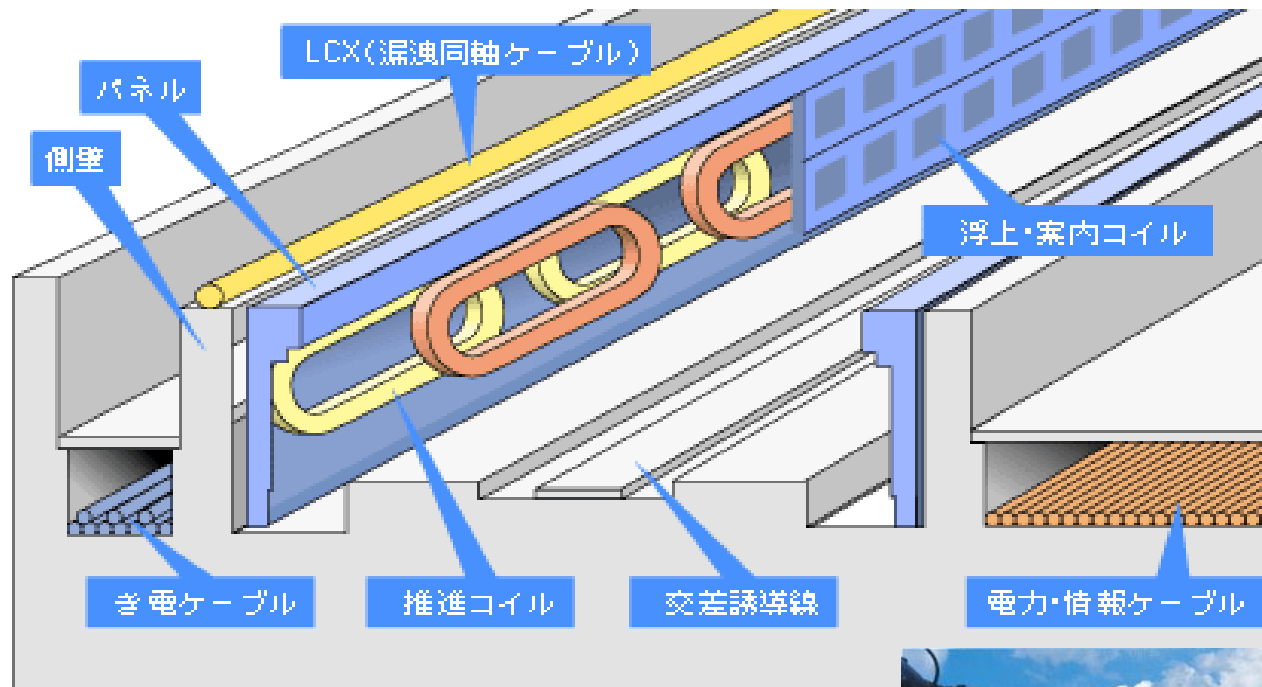
※内部取引等による調整前、数値

- 倶知安軌道スラブ（北海道） 北海道新幹線建設局
- 遊楽部高架橋（北海道二海郡八雲町） 北海道新幹線建設局



北海道新幹線 概要図
(JR TT HPより)

【新幹線の延伸とリニア・中央新幹線自立式ガイドウェイ(関東地区)】



主な受注実績

期中受注合計：53.9億円

※内部取引等による調整前、数値

- | | | |
|----------|------------|--------------|
| ●石田橋PC床版 | （岩手県一関市） | 株式会社 E & C S |
| ●DPL東雲大梁 | （東京都江東区東雲） | 黒沢建設株式会社 |

〈当期竣工〉



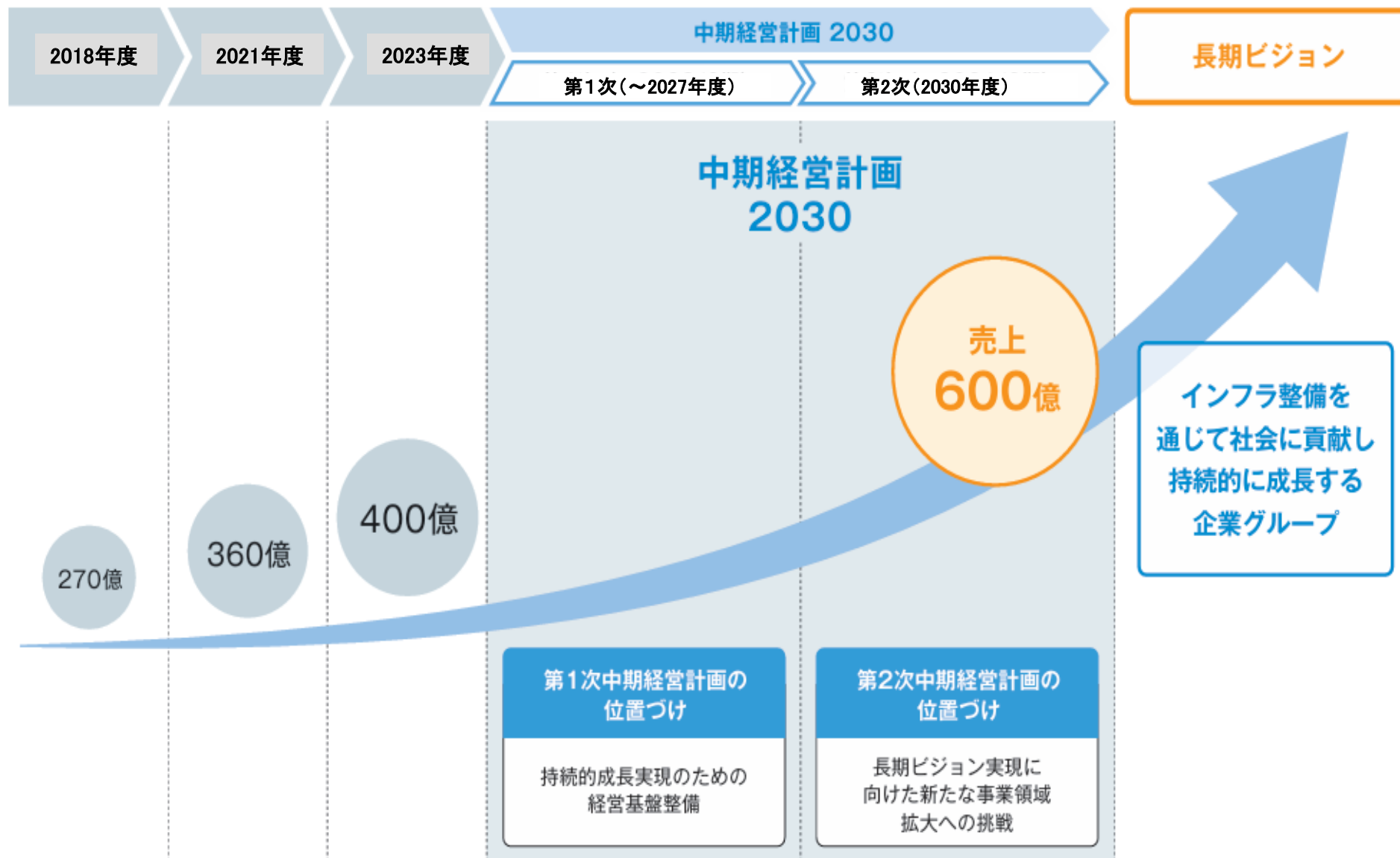
（仮称）DPL千葉四街道Ⅱ新築(千葉県四街道市)

大和ハウス工業

<https://www.daiwahouse.co.jp/business/multitenant/yotsukaido2/>

中期経営計画・事業戦略

今後の中期経営計画および事業戦略の方向性についてご説明いたします。



2030年に目指す将来像

インフラ整備を通じて社会に貢献し、持続的に成長する企業グループ

ステークホルダーへの提供価値

株主・投資家

- 資本コストと株価を意識した経営により、企業価値の最大化を実現する

顧客

- 顧客ニーズを見極め、高度な技術で、新たな価値を提供する

従業員

- 多様な働き方の中で、新3K（給与・休暇・希望）達成企業となる

協力会社

- 健全な取引関係を基礎として、相互協力により、新たな価値を創造する

地域社会

- 環境に配慮したインフラ整備を通して、人々が安心して暮らせる社会の構築に貢献する

財務価値



売上高：600億円以上



営業利益：40億円以上



ROE：10%以上



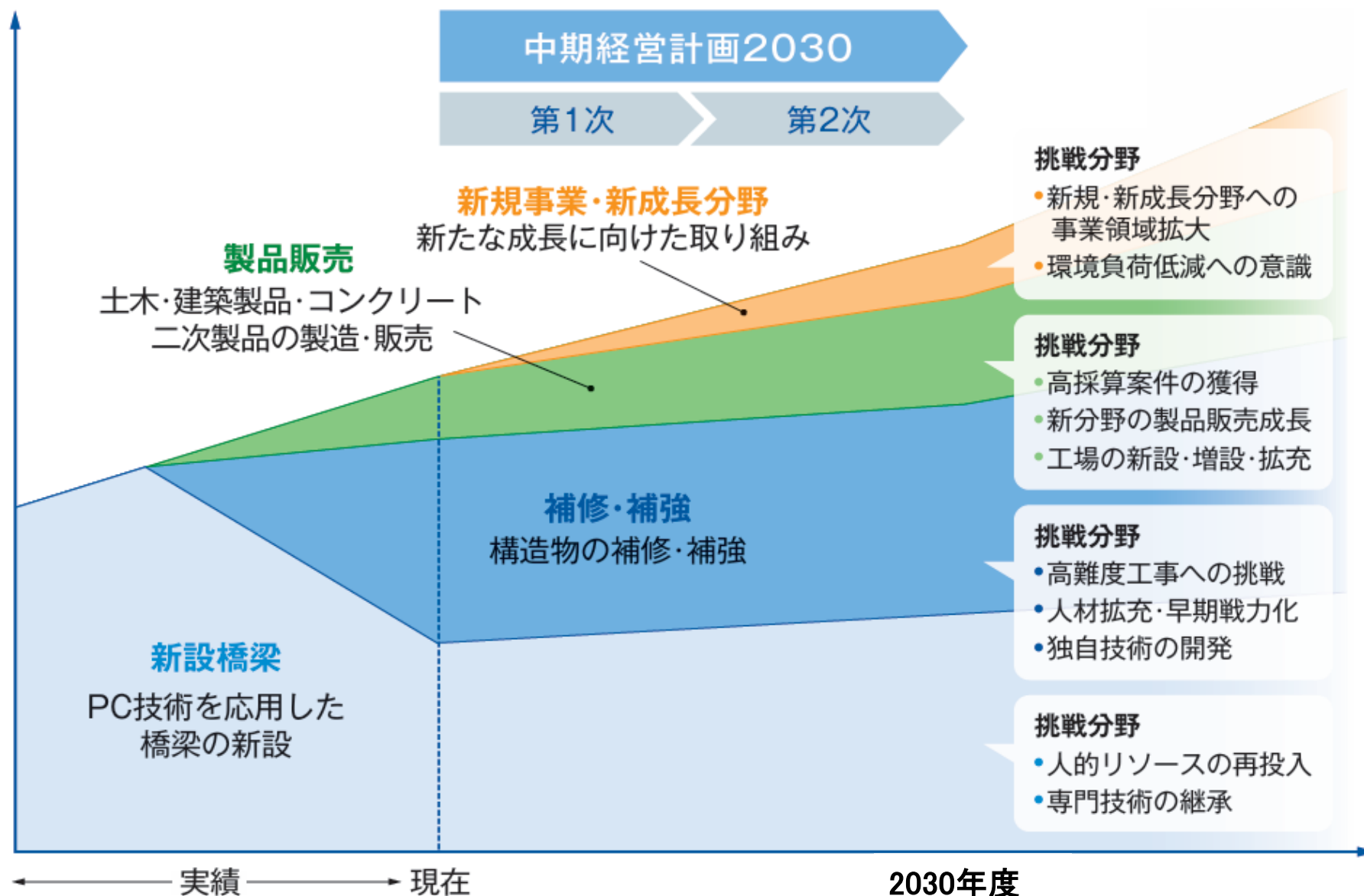
配当性向：40%以上



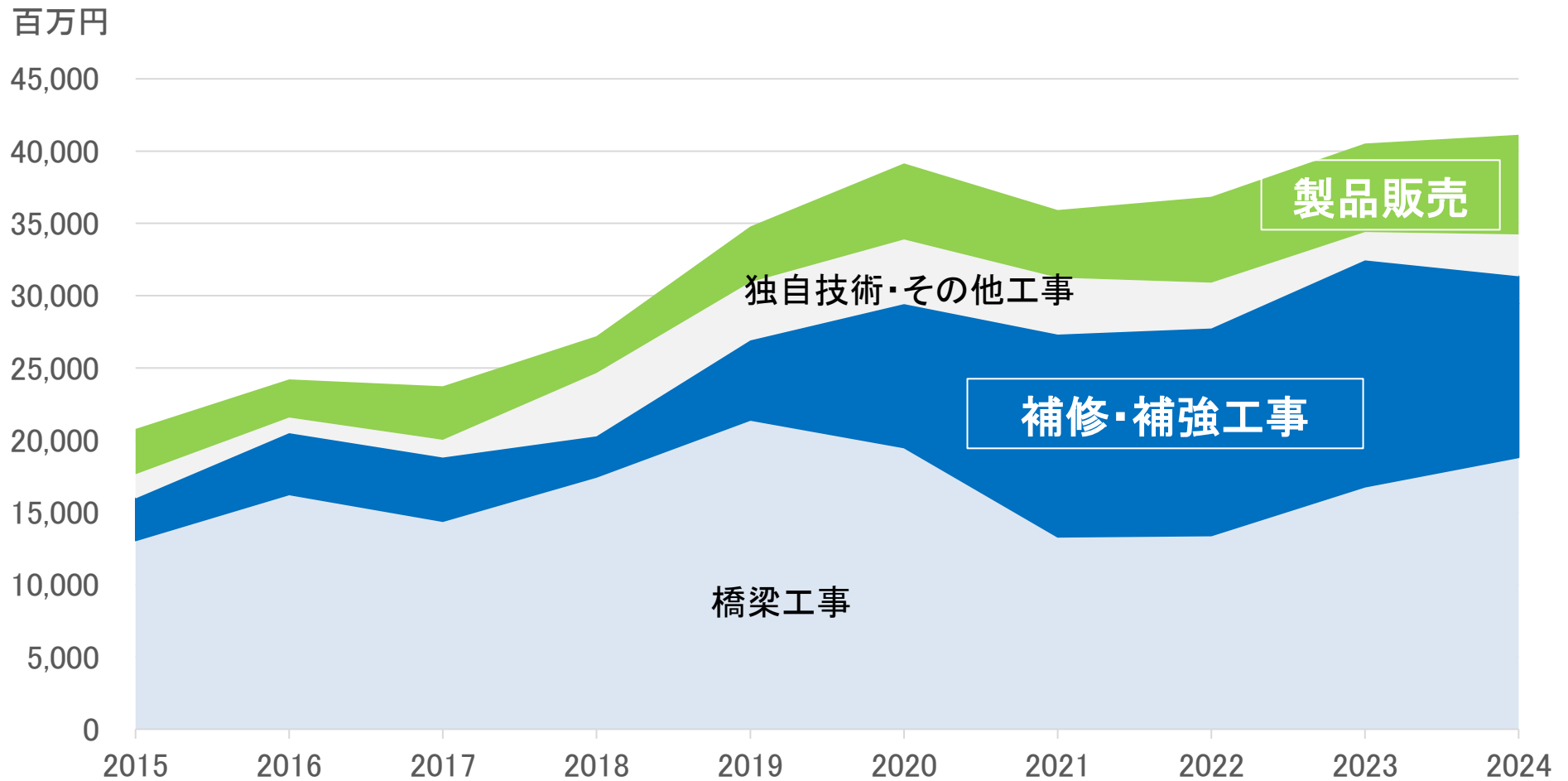
DOE：4%以上



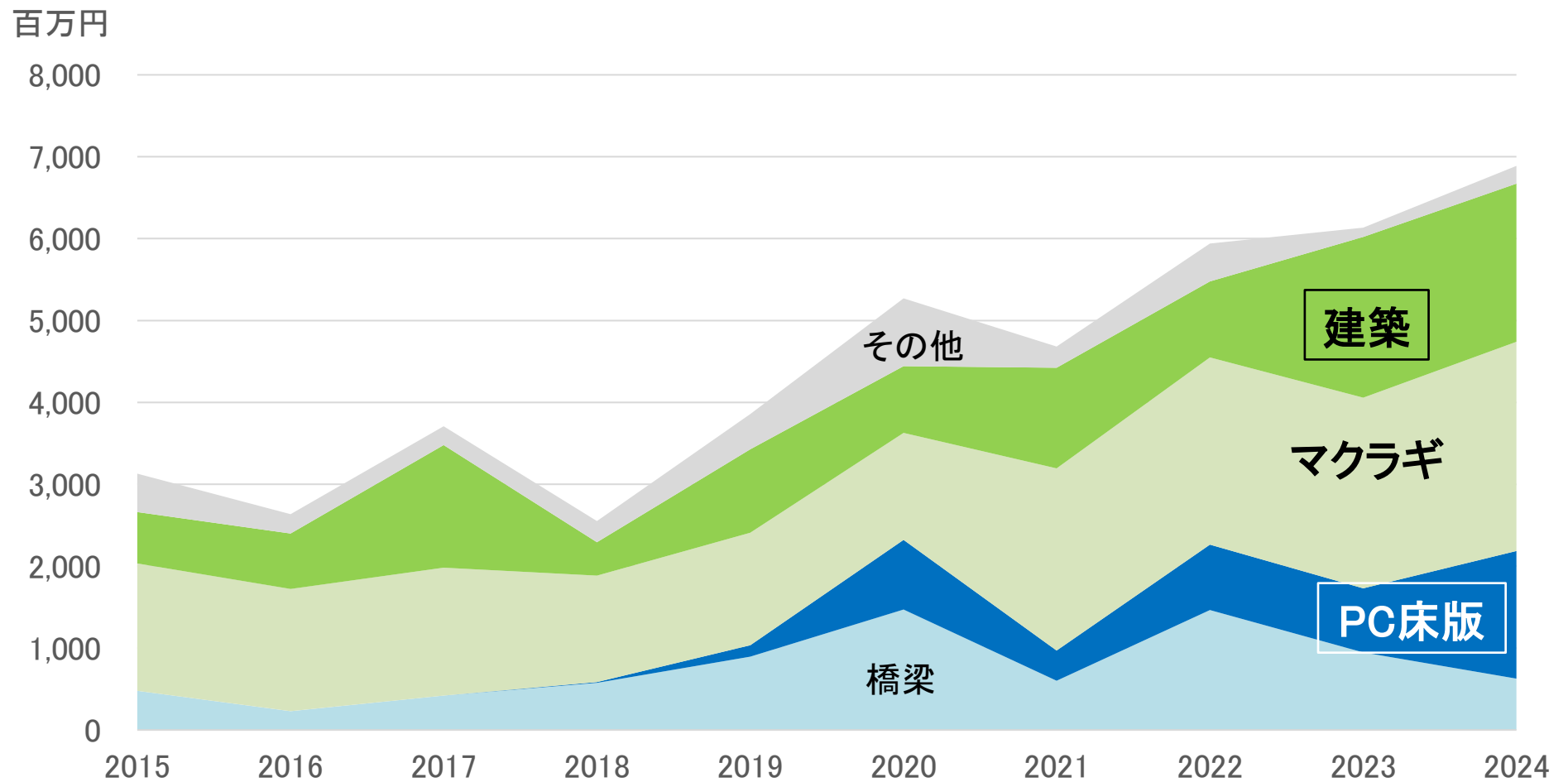
PBR：1.0倍以上



事業別売上高推移



製品外販 売上高推移



柱・梁



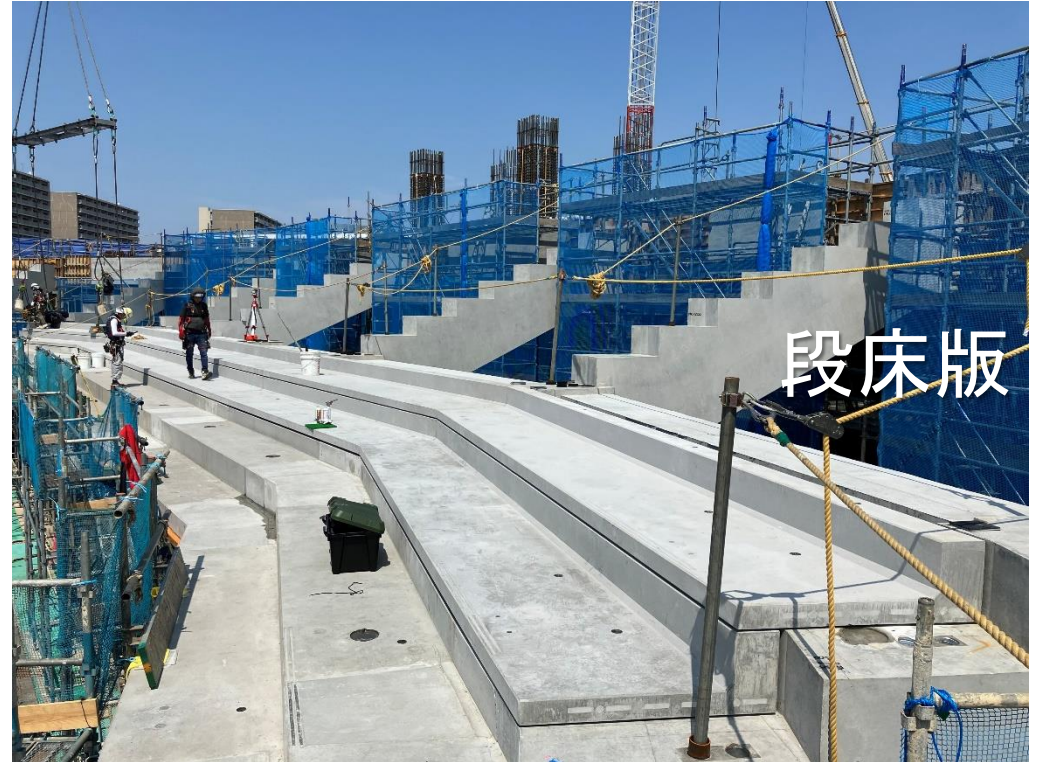
境漁港高度衛生管理型市場整備事業 2 号上屋



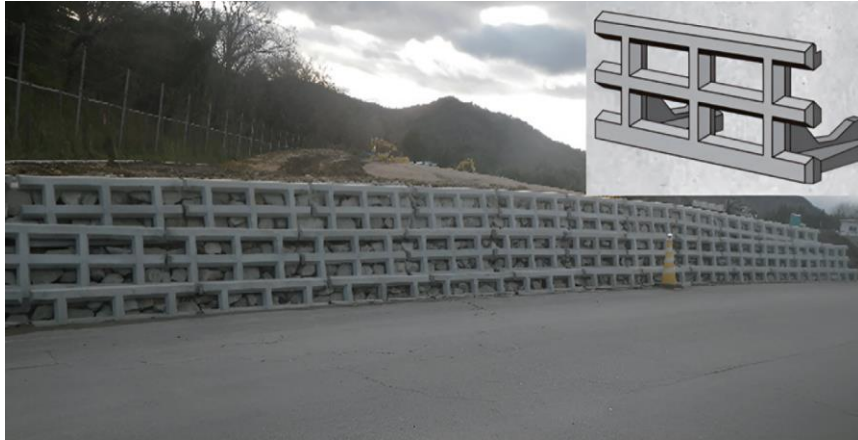
スタジアム/アリーナ実績 ピースウィング広島



スタジアム/アリーナ実績 愛知 IGアリーナ



【ロックフレーム工法（S型）・ブランチブロック工法】



機材センター土留め工事（広島県）



敷地内土留め工事（山口県）

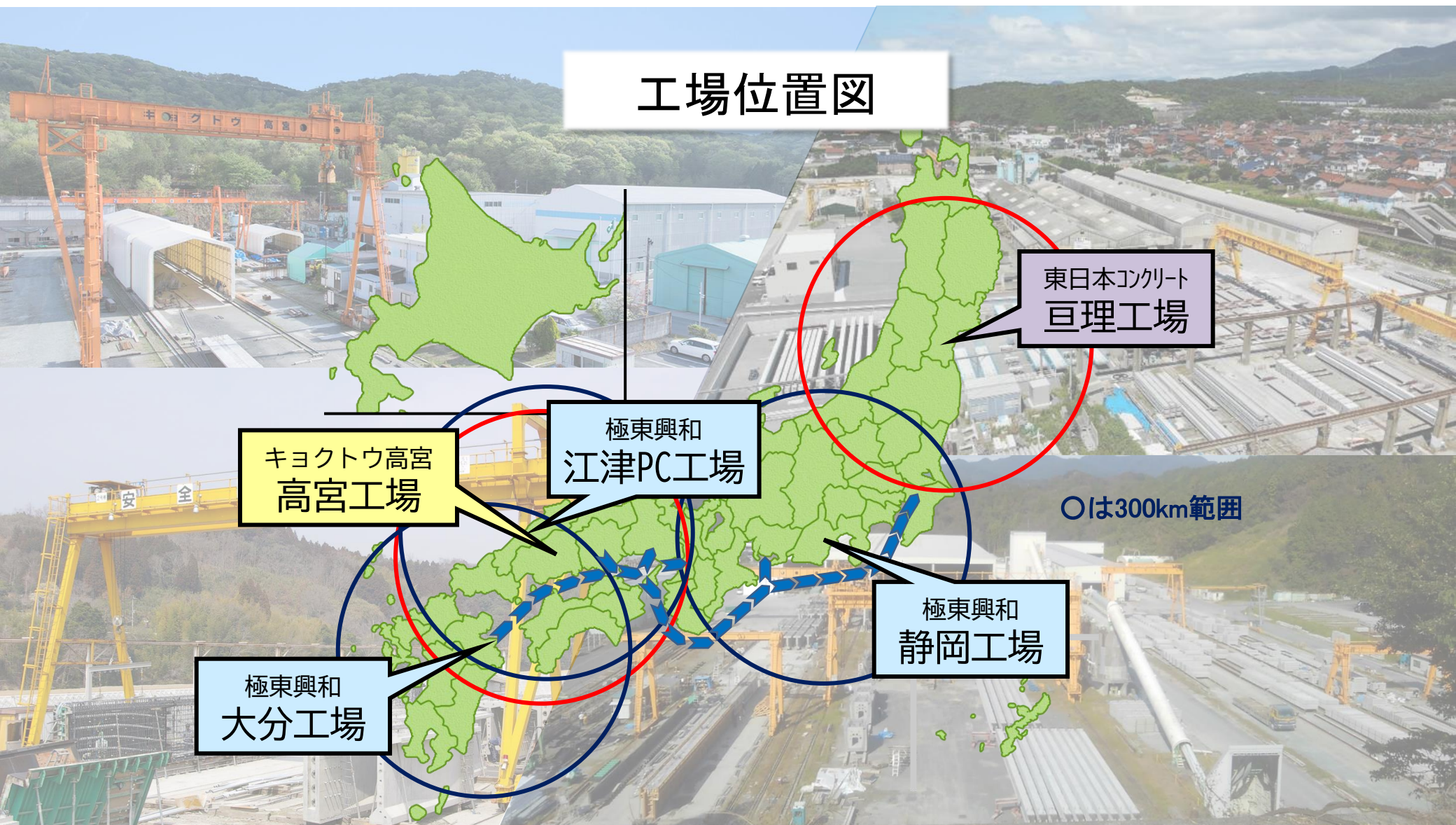


入江山林業専用道新設工事（島根県）



工業団地崩壊法面復旧工事 ブランチブロック（茨城県）

工場位置図



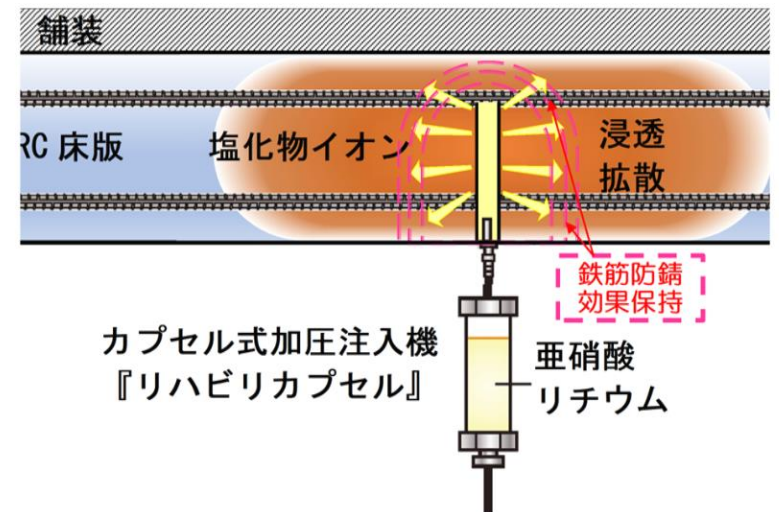
【高度な独自技術】

独自技術名	目的	特徴・優位性
K-LIP工法	コンクリート構造物の長寿命化	コンクリートのASR進行を根本的に抑制できる世界唯一の工法。 構造物の長寿命化に伴う炭素排出量を抑制する。
マイクロパイル工法	既存構造物の補強	施工条件が厳しい環境での既存構造物基礎の補強が可能な工法。
ELSS Joint工法	老朽化した橋梁床版の更新	床版の接合部に専用材料を充填するだけで 接合できる世界初の工法。
K-SLASH工法	老朽化した橋梁床版の更新	床版の撤去作業を合理化し、工事期間を20%短縮可能な工法。
K-PREX工法	既存構造物の補強	既設のコンクリート構造物を効率的に補強でき、 工事期間を28%短縮可能な工法。
ロックフレーム工法	コンクリート二次製品を活用した 防災・災害復旧	コンクリート二次製品を活用するため、石積みの特長技能を必要とせず、工事期間を40%短縮可能な工法。 コンクリート使用量の削減に伴う炭素排出量を抑制する。

【K-LIP工法】



上大橋補修工事（和歌山県）



【マイクロパイル工法】

大型重機が入れない場所での杭打設が可能な工法



柿生陸橋橋梁補修(耐震補強)工事（神奈川県）

マイクロパイル工法の優位性

	通常工法	マイクロパイル工法
狭隘作業（施工スペース）	広：200～300 m ²	狭：70 m ²
低空頭作業（上空高）	高：10～20 m	低：4.0 m
運搬条件の柔軟性（車両）	重：30t 級トレーラー	軽：15t 車
硬質地盤（玉石や岩盤）対応	工法は限定的	標準的な施工

【マイクロパイル工法】



電力中央研究所実験棟
津波氾濫流水路実験施設新築工事（千葉県）

【ELSS Joint（エルスジョイント）工法】

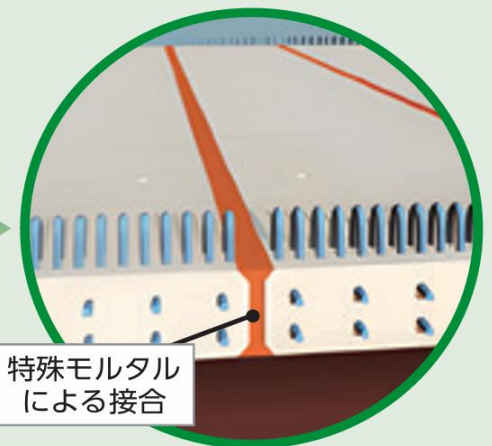


中国自動車道（特定更新等）
吉野川他1橋床版取替工事（岡山県）

従来工法



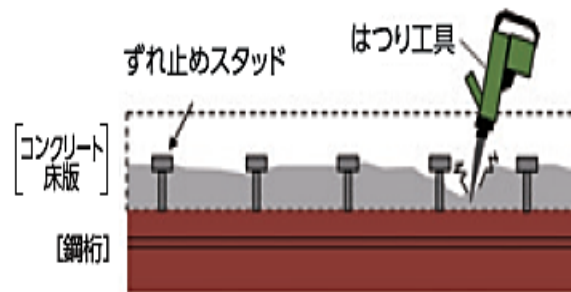
ELSS Joint工法



【K-SLASH工法】

高速道路リニューアル工事の床版取替を合理化する新工法

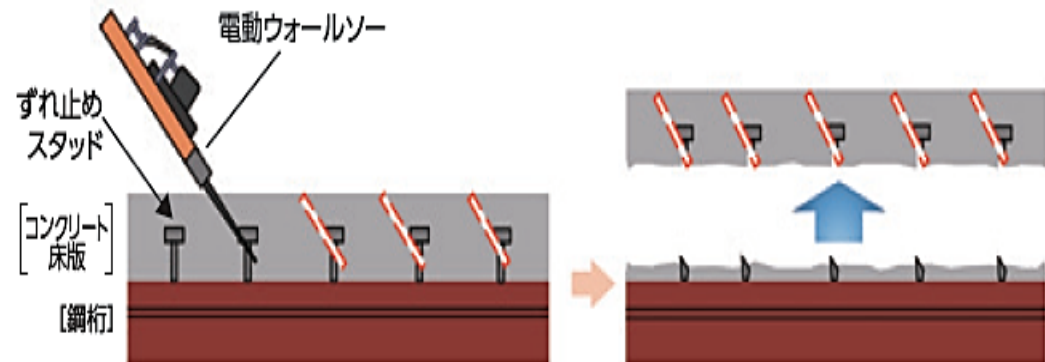
従来工法



床版を小分けに切断・撤去した後、
残ったコンクリートを人力ではつり撤去

施工期間が長期化

K-SLASH工法



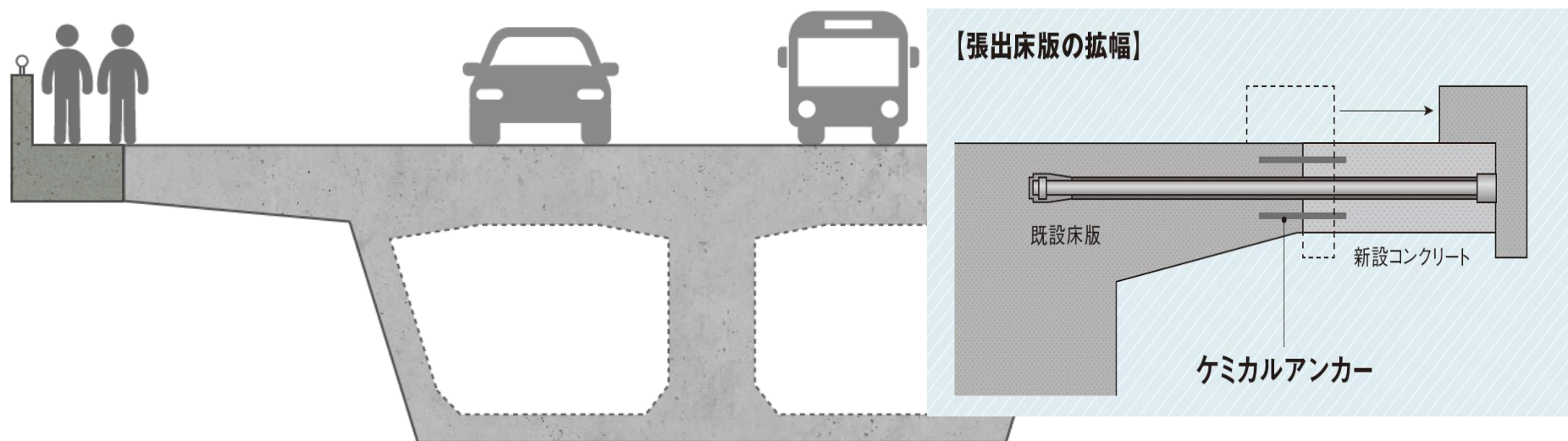
電動ウォールソーで
ずれ止めスタッドの頭部を斜めに切断

ジャッキアップにより
大ブロックのまま持ち上げ、一括撤去

撤去作業の省力化・施工期間の約20%短縮

【 K-PREX工法】

新しいプレストレス導入技術が可能にした 既設コンクリートと新設コンクリートの確実な一体化! 既設構造物の効率的な補強!



特長① 耐久性の向上

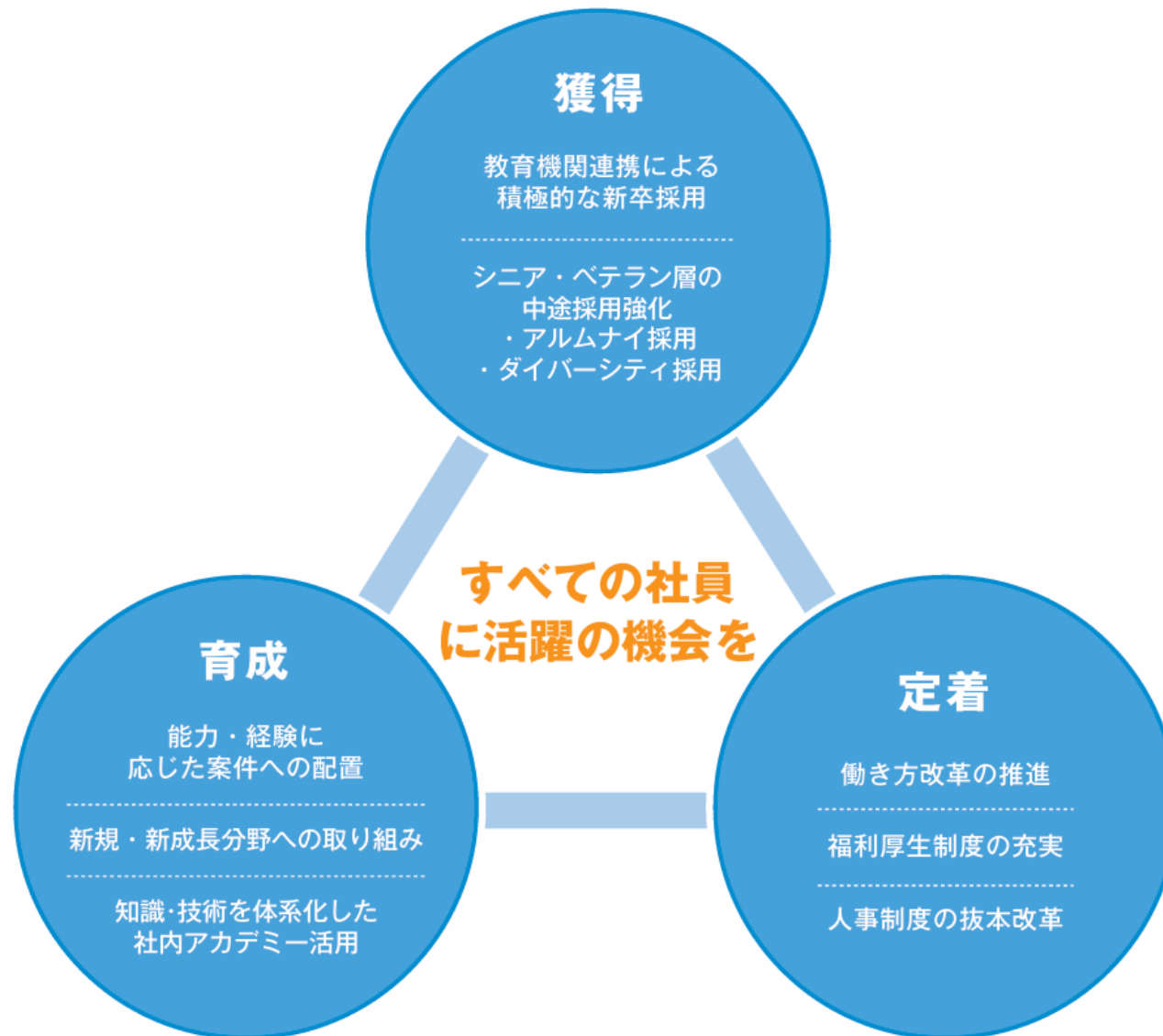
打ち継ぎ面にプレストレスを導入することで、水密性が格段に向上します。

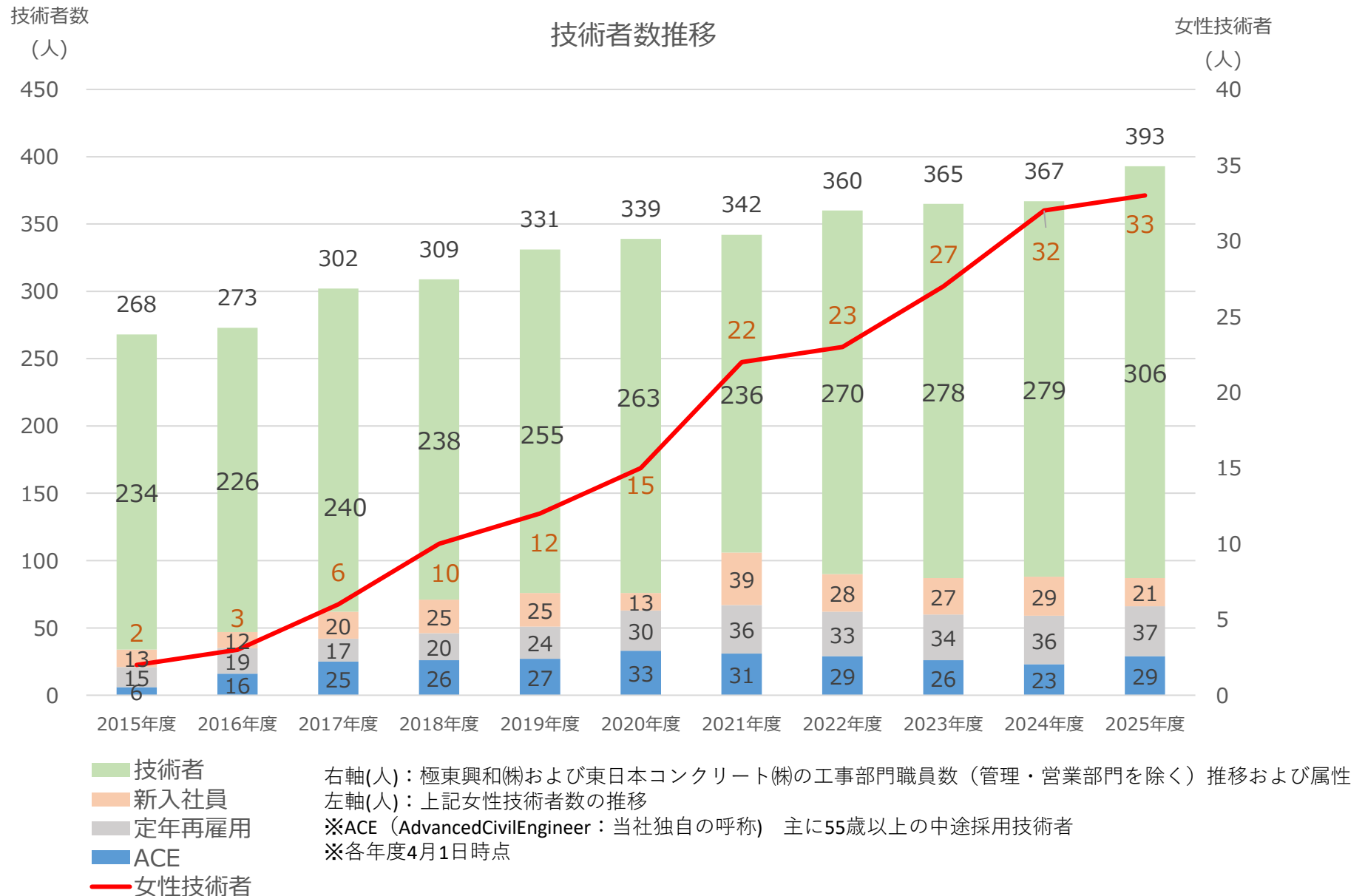
特長② 経済的な補強

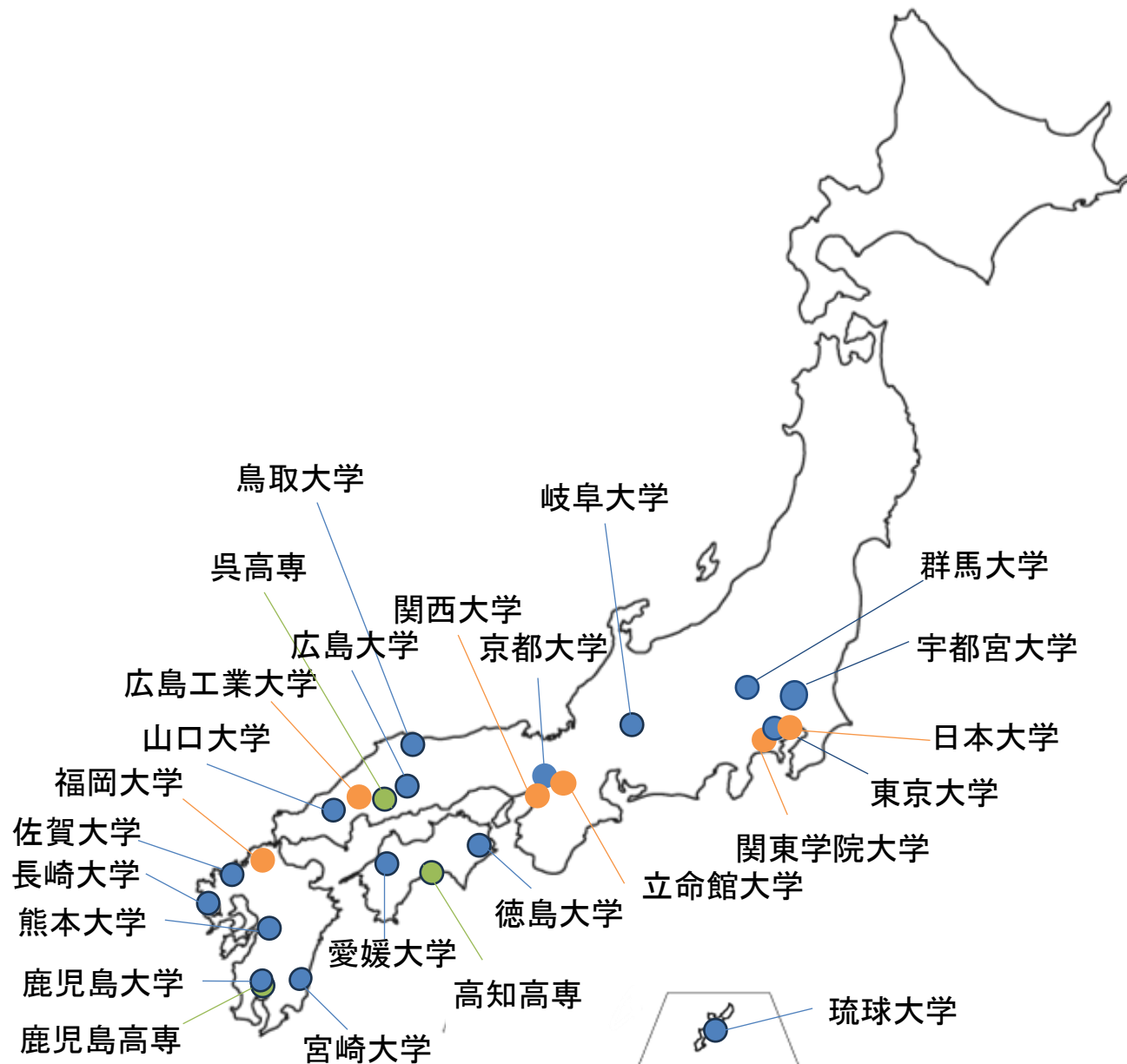
既設構造物にプレストレスを導入できることから、土中・水中の部材を経済的に補強できます。

特長③ 削孔数の削減

プレストレス導入に伴い、ケミカルアンカーの必要数を削減できます。







国公立大	16校
私立大	6校
高専	3校
合計	25校

※研究内容

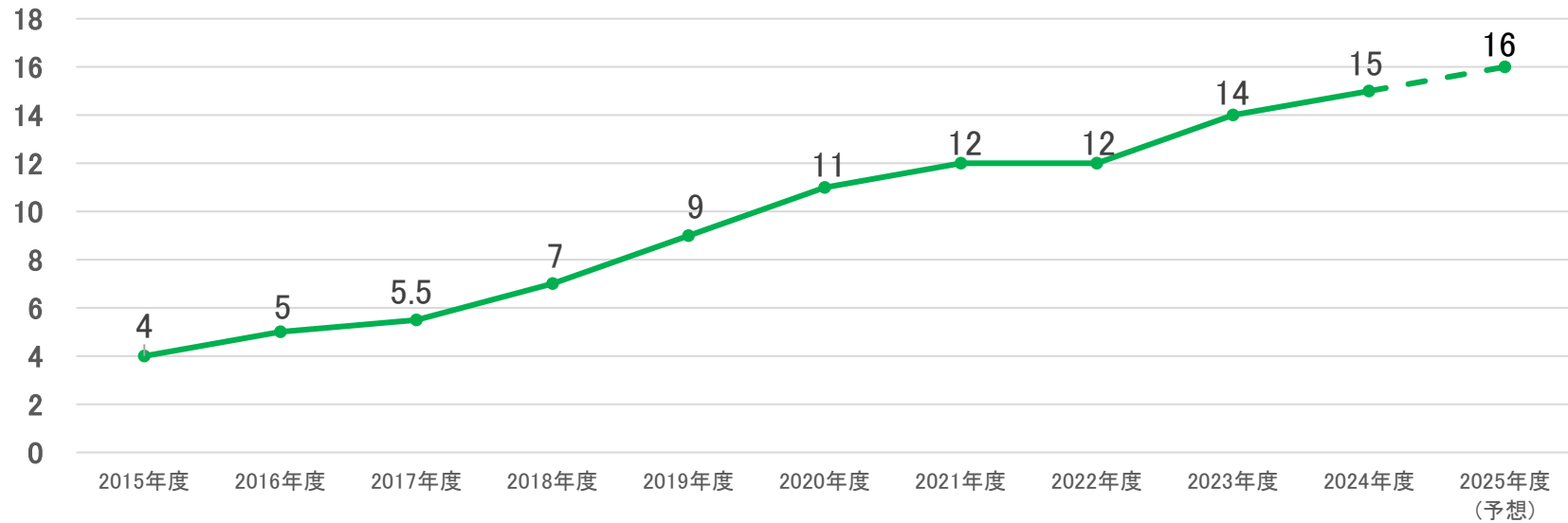
K-LIP (ASR) 12校

MP・K-PLEX・
低炭素コンクリートなど 13校

株主還元

配当政策など、株主への還元策についてご説明いたします。

年間配当金推移



	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (予想)
年間配当金(円)	4	5	5.5	7	9	11	12	12	14	15	16
前年比増減(円)	-	1	0.5	1.5	2	2	1	0	2	1	1

○配当金を継続的に増額

2015年度の4円から2025年度(予想)の16円と10年間で年間配当金を4倍に増加

○配当政策

連結配当性向 **40%以上**

DOE(株主資本配当率) **4%以上**

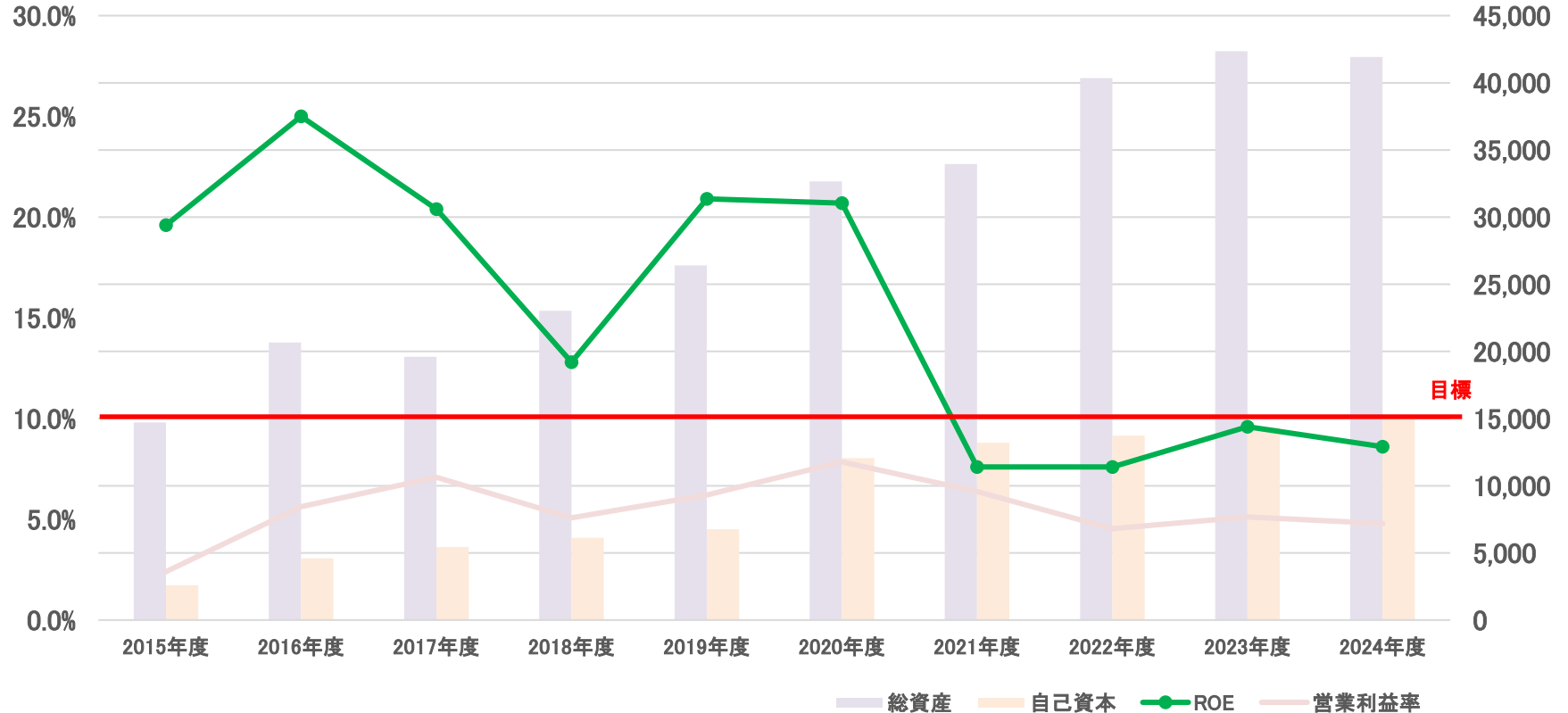


	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
配当性向	13.9%	14.4%	20.9%	37.0%	26.1%	22.1%	35.5%	53.0%	47.0%	53.0%
EPS(実績・調整後)	14.4	24.8	26.4	18.9	34.5	49.7	33.9	22.6	29.8	28.3

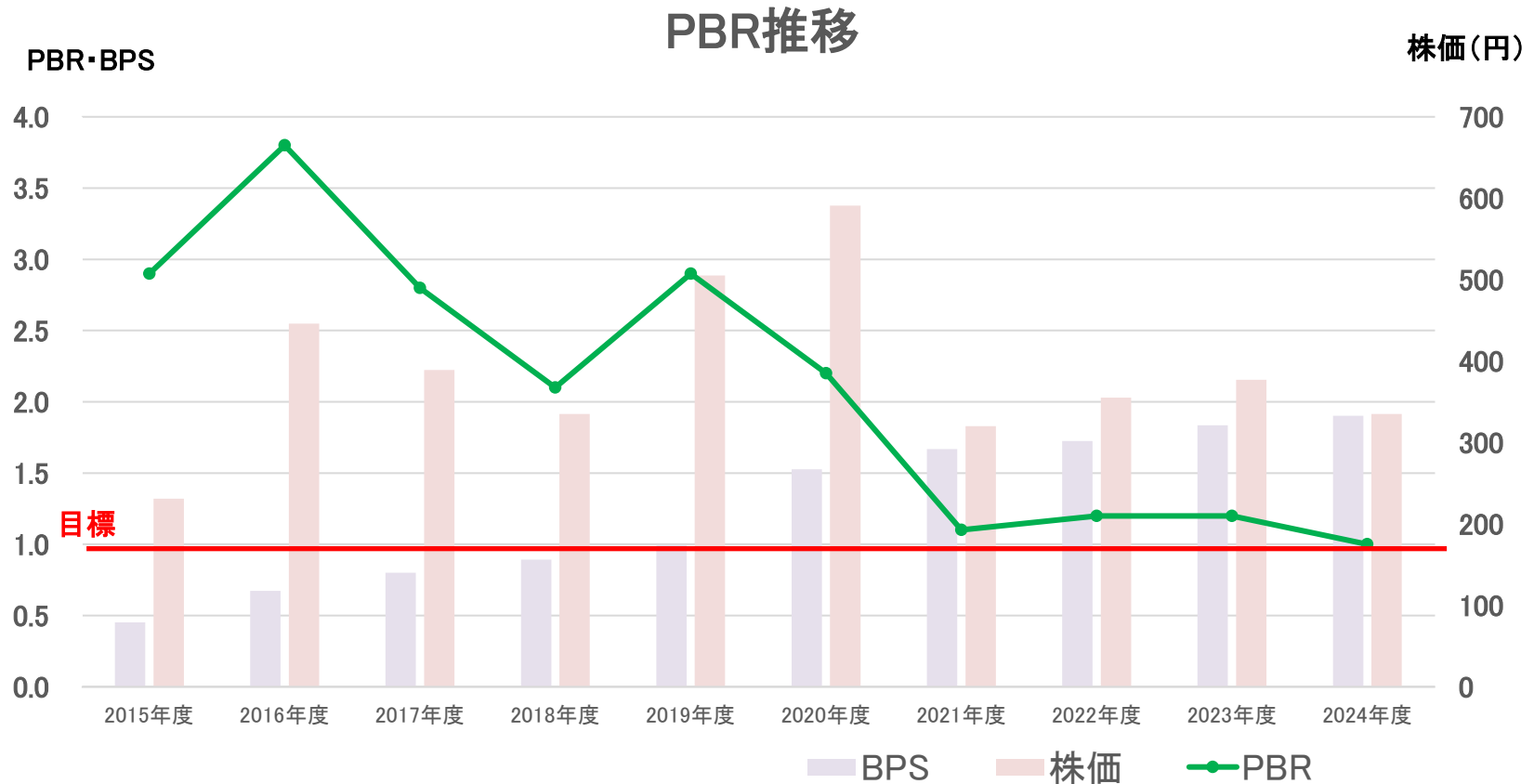
ROE推移

ROE・営業利益率(%)

総資産・自己資本(百万円)



	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ROE	19.6%	25.0%	20.4%	12.8%	20.9%	20.7%	7.6%	7.6%	9.6%	8.6%
総資産 (百万円)	14,710	20,657	19,611	23,017	26,398	32,649	33,961	40,355	42,351	41,933
自己資本(百万円)	2,604	4,584	5,452	6,127	6,768	12,047	13,194	13,741	14,361	14,978
営業利益率	2.4%	5.6%	7.1%	5.1%	6.2%	7.9%	6.4%	4.5%	5.1%	4.8%



	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
PBR	2.9	3.8	2.8	2.1	2.9	2.2	1.1	1.2	1.2	1.0
BPS	79	118	140	156	174	267	292	302	321	333
株価(円)	231	446	389	335	505	591	320	355	377	335

「人と人」「技術と技術」の橋渡し



ビーアールホールディングスグループは、
異なる事業特性・成長ステージを擁するグループ企業で構成された企業群を目指します。
そのグループ全体をまとめ、企業価値の最大化に努め、資本効率のさらなる向上を目指すのが、
ホールディング・カンパニーとしての当社の役割です。
欧州統一通貨ユーロ紙幣の裏面は、全てのコミュニケーションを象徴する
橋のイメージのデザインで統一されています。
株式会社ビーアールホールディングスの経営理念も同じです。
これからも「人と人」「技術と技術」の橋渡しをすることに取り組んでまいります。